

科目名	ネットワークⅢA										
科目名(英)											
単位数	10単位		時間数		150時間		担当者		久保山 大地・高倉 美哉		
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻3年・情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻3年・ 情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース2年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース2年										
授業概要	大規模ルーティングプロトコル、ネットワーク管理技術、広域ネットワーク構築技術を学習し、中規模ネットワークの構築と運用ができるようになる。										
	iCDタスクコード		DV04.4.1								
授業形態	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○				ダイナミックルーティングおよびIPサービス、ネットワーク管理の仕組みを説明できる。					
	○	○	○			中規模企業ネットワークの構築ができる。					
	○	○	○			中規模企業ネットワークの運用ができる。					
テキスト・教材 参考図書	シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格テキスト&問題集[対応試験]200-301(翔泳社)										
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示			
	1-4	ダイナミックルーティングの概要						スタティックルーティングを復習			
	5-9	OSPFの動作概要									
	10-12	マルチアクセス環境でのOSPFの動作									
	13-17	OSPFの設定と確認						OSPF設定コマンドを復習			
	18-19	OSPFv3の概要									
	20-22	OSPFv3の設定と確認									
	23-26	IPv4標準ACLによるフィルタリング									
	27-31	IPv4拡張ACLによるフィルタリング						ACL設定コマンドを復習			
	32-34	IPv4ACLのトラブルシューティング									
	35-37	スタティックNAT									
	38-41	PAT						NAT設定コマンドを復習			
	42-44	DHCPサーバー設定									
	45-46	DHCPクライアント設定									
	47-48	DHCPリレー						DHCP設定コマンドを復習			
	49-51	ネットワーク管理 Syslog									
	52-54	ネットワーク管理 NTP									
	55-57	ネットワーク管理 LLDP、CDP									
	58-59	IOSの管理									
	60-61	TFTPによるIOSの管理									
	62-63	パスワードリカバリー									
	64-67	ネットワーク管理 AAA									
	68-71	ネットワーク管理 SNMP						セキュリティの基本的事項を復習			
	72-75	ネットワーク管理 QoS									

評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを10回実施する。 (3)実習内容を課題レポートとして提出させる。(4)受講状況进行评估する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎			40%
	確認テスト		◎			20%
	課題		◎	○		20%
	受講状況				◎	20%
履修上の注意						

科目名	ネットワーク構築演習									
科目名(英)										
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		打越 直美・北島 仁宇	
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験			
対象学科・学年	情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻3年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻3年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース2年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース2年									
授業概要	イーサネット技術を理解し、ルータやスイッチを組み合わせるネットワークを構築するために必要な設定、動作確認、トラブルシューティングができるようになる									
	iCDタスクコード		DV04.4.1							
授業形態	講義:		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				ルーティング、スイッチングの基本機能、仕組みが説明できる				
	○	○	○			ルーティング、スイッチングに関する設定、動作確認ができる				
	○	○	○			ルーティング、スイッチングに関するトラブルシューティングができる				
テキスト・教材 参考図書	シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格テキスト&問題集[対応試験]200-301(翔泳社)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1-2	ルータ、スイッチ基本設定					ルータの基本コマンドを復習			
	3-4	サブネット計算、スタティックルーティング、デフォルトルート								
	5-6	IPv6アドレス設定、スタティックルーティング、デフォルトルート								
	7-8	VLAN、トランク、DTP					VLANの基本コマンドを復習			
	9-10	VLAN間ルーティング								
	11-12	VLAN間ルーティングとスタティックルーティング								
	13-14	STP基本設定、拡張機能					STPの基本コマンドを復習			
	15-16	イーサチャネル(スタティック、ダイナミック)								
	17-18	VLANとSTP								
	19-20	VLANとHSRP					HSRPの基本コマンドを復習			
	21-22	VLANとHSRPとダイナミックルーティング								
	23-24	OSPF					OSPFの基本コマンドを復習			
	25-26	スタティックルーティングとOSPF								
	27-28	OSPFv3					OSPFv3の基本コマンドを復習			
	29-30	スタティックルーティングとOSPFv3								
評価方法	(1)実習内容を課題レポートとして提出させる (2)授業の中で単元ごとの授業内評価テストを3回実施する (3)受講状況进行评估する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	演習課題レポート	○		◎	○			40%		
	授業内評価テスト	○		◎				40%		
	受講状況					◎		20%		
履修上の注意	再試験は実施しない									

科目名	サーバー構築・運用演習Ⅱ												
科目名(英)													
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		久保山 大地				
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験						
対象学科・学年	情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻3年・情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻3年・ 情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース2年												
授業概要	IPv6を使用したサーバーの構築を行う。管理系サーバーの構築を通して運用技術を習得する。 Dockerを使用したサーバー構築を行い、新しいインフラ基盤となるコンテナ技術を学習する。												
	iCDタスクコード		DV04.7.1										
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△				
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標							
	○	○				IPv6の仕組みを理解し、BIND、Apacheの基本設定ができる。							
	○	○				管理系プロトコルの仕組みを理解し、Zabbix、Syslog、Splunkの基本設定ができる。							
	○	○				Dockerの仕組みを理解し、Dockerの基本操作ができる。							
テキスト・教材 参考図書	オリジナル教材												
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示						
	1-4	IPv6概要					CCNAのIPv6の範囲を復習すること。						
	5,6	IPv6 DNS演習					2年次のDNS構築の内容を復習すること。						
	7,8	IPv6 WEB演習					2年次のWEB構築の内容を復習すること。						
	7,8	SNMP概要、Zabbix演習											
	9-12	Zabbix、Grafana演習											
	13-20	Syslog、Swatch、Splunk演習											
	21,22	LAMP概要、WordPress演習											
	23,24	サーバー仮想化技術概要、Docker概要											
	25-29	Docker基本操作											
	30	総復習											
評価方法	(1)複数回確認テストを実施し評価する。(2)受講状況を評価する。(3)定期試験(筆記)を実施し評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合	
	確認テスト		○		◎						30%		
	受講状況						◎				20%		
	定期試験(筆記)				◎						50%		
履修上の注意													

科目名	ゼミナールⅢA											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		久保山 大地			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻3年 情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース2年											
授業概要	IT業界の仕事について知る。 就職活動に備え、各自の進路を決める準備および履歴書作成の準備を行う。											
	iCDタスクコード		該当なし									
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
		○				IT業界の特徴を説明できる						
		○		○		業界と職種の志望理由を述べることができる						
	○	○		○		就職採用試験に提出する履歴書が準備できる						
テキスト・教材 参考図書	麻生塾オリジナル 就職活動ガイドブック											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	現状の課題整理、シラバス確認、連絡手段整備、スケジュール確認、目標設定、ニュース発表説明										
	2	ニュース発表、就活サイト登録										
	3	マンダラチャート、モチベーショングラフ										
	4	好き嫌い_できるできない_100本ノック、仕事の意味										
	5	仕事の意味、仕事の価値分析										
	6	仕事の意味発表										
	7	自己PR作成					マンダラチャート、モチベーショングラフ、好き嫌い_できるできない_100本ノックを提出すること。					
	8	業種、職種レポート作成										
	9	オンライン就職活動環境確認、インターンシップ説明、予約状況確認										
	10	自己PRフィードバック、履歴書パーツ作成、インターンシップ予約状況に関する面談										
	11	身だしなみチェック、キャリアタス登録、就職活動のよくある勘違い動画										
	12	自己PRフィードバック、履歴書パーツ作成										
	13	業界研究(業界セミナー1)										
	14	自己PRフィードバック、履歴書パーツ作成										
	15	業界研究(業界セミナー2)					自己PR、履歴書パーツ、業界セミナーレポートを提出すること。					
評価方法	(1)複数課題を実施し評価する。(2)受講状況の評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	課題	○		◎				○				80%
	受講状況							◎				20%
履修上の注意	再試験は実施しない。指示があった際はスーツを着用し、就職活動に沿った身だしなみを心掛けること。											

科目名	ビジネスコミュニケーションⅢ						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	木村 浩昌
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻3年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻3年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース2年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース2年						
授業概要	ディベートの基礎知識を習得し、実習を行うことで論理的な討論技法を段階的に身につける。 ①客観的、批判的、多角的な視点が身につく。②論理的な思考表現が出来るようになる。 ③自分の考えを筋道を立て、人前で堂々と主張できるようになる。						
	iCDタスクコード		該当なし				
授業形態	講義：	△	演習：	○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ディベートの手法を理解できる。	
		○				きちんと理由、筋道をつけて自分たちの主張を相手に伝え、納得してもらうことができる。	
テキスト・教材 参考図書	論理力・説得力・対人力が高まるトレーニング - ディベートの基本が面白いほど身につく本 KADOKAWA						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 ディベートの技術はこんなに役に立つ！					
	2	第2章 ディベートをやる前に知っておきたいこと(1)					
	3	第2章 ディベートをやる前に知っておきたいこと(2)					
	4	第3章 実際にディベートをやってみよう(1)				授業内容に係るレポート作成および提出	
	5	第3章 実際にディベートをやってみよう(2)				授業内容に係るレポート作成および提出	
	6	第3章 実際にディベートをやってみよう(3)				授業内容に係るレポート作成および提出	
	7	第3章 実際にディベートをやってみよう(4)				授業内容に係るレポート作成および提出	
	8	第3章 実際にディベートをやってみよう(5)				授業内容に係るレポート作成および提出	
	9	第3章 実際にディベートをやってみよう(6)				授業内容に係るレポート作成および提出	
	10	第4章 実生活に応用できるディベートテクニック					
	11	第5章 ディベート力を磨くトレーニング					
	12	総合演習(1)					
	13	総合演習(2)					
	14	総合演習(3)					
	15	総合演習(4)				授業内容に係るレポート作成および提出	
評価方法	(1)レポートを数回実施する。(2)確認テストを数回実施する。(3)受講状況进行评估する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題レポート		◎				40%
	確認テスト		◎				40%
	受講状況				○		20%
履修上の注意	再試験は実施しない。						

科目名	一般教養ⅢA						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	畠添 正和	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	情報工学科 3年・情報システム専攻科 3年 情報システム科アドバンスコース2年、情報システム専攻科アドバンスコース2年						
授業概要	就職筆記試験における「SPIテスト」の対策を行う。 (1)非言語(数学)分野:計算を「基本通りに行い」答えを求める手順を確認する。 (2)言語(国語)分野:出題パターンの確認及び練習問題を演習する。						
	iCDタスクコード		該当なし				
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				言語(数学)分野・非言語(国語)分野の問題に対して、解答を説明できること。	
テキスト・教材 参考図書	最新最強のSPIクリア問題集(成美堂出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職筆記試験について、SPIテキストの構成・内容の確認 数学分野(1:仕事算)					
	2	国語分野(1:二語の関係①)、数学分野(2:鶴亀算)・連立方程式の演習					
	3	国語分野(2:二語の関係②)、数学分野(3:損益算)					
	4	国語分野(3:文法)、数学分野(4:速さ・時間・距離)					
	5	国語分野(4:語句の意味)、数学分野(5:場合の数)					
	6	国語分野(5:短文の穴埋め)、数学分野(6:確率)				小テストの範囲を復習しておくこと	
	7	小テスト 国語分野1～5、数学分野(1～6)					
	8	小テスト 返却&解説&見直し				小テストの不正解の問題を見直すこと	
	9	国語分野(6:文章整序)、数学分野(7:精算と割引料金)					
	10	国語分野(7:空欄補充)、数学分野(8:分割払い)					
	11	国語分野(8:長文読解)、数学分野(19:参考問題1)					
	12	国語分野(9:参考問題)、数学分野(19:参考問題2)					
	13	数学分野(13:集合)					
	14	数学分野(15:ブラックボックス、17:物の流れと比率)					
	15	期末試験対策					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。(3)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				55%
	小テスト	◎	◎				25%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意							

科目名	Webアプリケーション演習A											
科目名(英)												
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		柴内 加代			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻3年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻3年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース2年											
授業概要	PHP言語を活用したWebアプリケーション開発の基礎の修得を目指す。演習を通じて動作確認しながらWebアプリケーションの仕組みを理解する。また、適宜追加の演習問題を実施して、知識の定着を図る。											
	iCDタスクコード		DV08.5.3									
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○					Webアプリケーション開発環境を構築することができる						
	○	○				PHPの基本的な知識(基本構文、制御構文等)を利用したプログラムを作成できる						
		○				データベースを操作することができる						
テキスト・教材 参考図書	基礎からのPHP(ソフトバンク クリエイティブ(株))											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	CHAPTER01 PHPの概要、CHAPTER02 PHP利用準備										
	2-3	CHAPTER03 PHPが確実に動作するまで					環境の構築を完了させること					
	4-5	CHAPTER04 PHPの基礎の基礎										
	6-8	CHAPTER09 Webページからデータ送信					演習課題を終了させること					
	9-12	CHAPTER05 条件分岐と繰り返し					演習課題を終了させること					
	13-14	CHAPTER06 ユーザー定義関数										
	15-16	CHAPTER07 日本語文字列を扱う					演習課題を終了させること					
	17-19	CHAPTER08 配列					演習課題を終了させること					
	20-21	CHAPTER10 MySQLを利用するために					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと					
	22-23	CHAPTER11 phpMyAdminによるMySQL操作の基本					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと					
	24-25	CHAPTER12 SQL文の基本										
	26-28	CHAPTER13 PHPでMySQLを利用する					演習課題を終了させること					
	29-30	総合演習										
	評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)各内容での演習課題を実施する。(3)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
定期試験(筆記)		○		◎				○				50%
課題確認レポート		○		◎				○				40%
受講状況								◎				10%
履修上の注意	USBメモリを持参すること。											

科目名	情報処理試験対策春対策A						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	川野 啓祐	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	情報システム専攻科3年・情報工学科3年・ 情報システム専攻科2年アドバンスコース・情報システム科2年アドバンスコース						
授業概要	経済産業省主催 情報処理技術者試験の出題範囲に準拠し、各受験区分のレベルに応じた用語や知識の習得を行う。さらに演習問題を使用し、実践的な解答方法の演習を行う。						
	iCDタスクコード		該当なし				
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				試験範囲内の専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				試験範囲内における様々なIT技術に関する仕組みについて説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	各受験区分で指示があります。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1～8	IPAが提示するシラバスに掲載されている用語を理解し覚える。覚えた用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。				分からなかった部分の復習をしておくこと。	
	7-15	理解し、覚えた用語を実践的に使用する演習を、基礎的な難易度の午後問題を中心に実施する。				分からなかった部分の復習をしておくこと。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。ただし、国家試験を定期試験とみなす。 (2)課題・レポートを数回実施する。(3)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				55%
	課題・レポート	○	◎				25%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	再試験は実施しない						

科目名	情報処理試験対策秋対策A											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		32時間		担当者		川野 啓祐			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	情報システム専攻科3年・情報工学科3,4年 情報システム科アドバンスコース2年・情報システム専攻科アドバンスコース2,3年											
授業概要	経済産業省主催 情報処理技術者試験の出題範囲に準拠し、各受験区分のレベルに応じた用語や知識の習得を行う。さらに演習問題を使用し、実践的な解答方法の演習を行う。											
	iCDタスクコード		該当なし									
授業形態	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				試験範囲内の専門用語について学び、意味を説明することができる。						
		○				試験範囲内における様々なIT技術に関する仕組みについて説明することができる。						
テキスト・教材 参考図書	各受験区分で指示があります。											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1～8	IPAが提示するシラバスに掲載されている用語を理解し覚える。覚えた用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。					分からなかった部分の復習をしておくこと。					
	9～16	理解し、覚えた用語を実践的に使用する演習を、基礎的な難易度の午後問題を中心に実施する。					分からなかった部分の復習をしておくこと。					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)課題・レポートを数回実施する。(3)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験(筆記)	○		◎								55%
	課題・レポート	○		◎								25%
	受講状況							◎				20%
履修上の注意												